

カーコンビニリース もろコミ



ご契約期間中のガソリン代

毎月最大 2,000円 キャッシュバックキャンペーン

※「もろコミ」でご契約頂いたお車に給油したガソリン代を、カーコンビニ倶楽部(株)が、リース全期間中1リットルあたり20円、毎月100リットルを上限に補助(最大2000円)いたします。本サービス内容は予告なく終了する場合がございます。詳しくはもろコミHPでご確認ください。

「私は、一日266円で

(※)



=



+



+



+



車に乗ってます」

※266円は、ボナスマ月加算額を含んでおりません

カーコンビニ倶楽部 〒108-0075 東京都港区港南2-11-19 大滝ビル
☎0120-0120-55 もろコミ 検索

コネクテッドカーの活躍

2020年は、東京オリンピックが開催される年でもあるが、あわせていくつかの革新的な変化により世界市場も変貌すると予想されている。

キャッシュレス時代の幕開けとして、Jコイン(みずほフィナンシャルグループ主体で発行される電子マネー)の普及が、あつという間に40%程度となるであろう。また、インバウンドも年間3000万人を超え、あわせて民泊を中心とした旅行ホテル業界もオリンピック景気を引き継いで活性化が進んでいる。日本の国家経済は、デジタル化とハイテク化をベースに、より便利なものへと加速度的に変化を続けるのであるが、国家の財務状況は改善されないまま、かなりの円安が進んでいるであろう。自動車業界においては、世界のコネクテッドカーの販売総数が2億5千万台から3億台を数え、欧州を皮切りに、中国市場での浸透が進み、Google、AppleなどといったITの巨人たちが、この市場の牽引者となる。

つい先日まで、「より早く、より強く」をテーマに開発を続けてきた車のメーカーは、「より心地よく、より便利に」といった方向に車作りのコンセプトを変えてきている。要するに、GPSの機能とセンサーとカメラと音声認識をエッセンスとした「スマートカー」の時代が到来するのである。

この変化により、行政面や法律、保険などの枠組みも大きな変化を余儀なくされ、とりわけ現在問題になっている高齢者の事故や、さらに加えて言うならば、飲酒運転の規定なども大きく変わることになる。車の運転がGoogle、AppleといったIT企業とスマホを中心としたデバイス(電子端末・機器)にかなりの部分を依存するため、コネクテッドカーにおいては、ドライバーの責任の比率がかなり低くなってくる。

カーコンビニ倶楽部においてはパーツの修理や外面的なキズの修理の売り上げシェアは大きく低下し、一方でこのスマートカー時代に要求されるIT各社や既存の車メーカーとのまさにコネクテッド・エージェントとしての存在が見直されるようになると思う。



林 成治 Seiji Hayashi
出身:北海道 青山学院大学経営学部卒業
1981年4月:プロミス株式会社入社
2008年4月:同社執行役員就任
2008年8月:カーコンビニ倶楽部株式会社 常務取締役就任
2008年10月:同社代表取締役就任
2009年8月:バル債権回収株式会社 常務取締役就任
2010年4月:株式会社Do フィナンシャルサービス取締役就任
2011年1月:同社取締役退任
2011年1月:カーコンビニ倶楽部株式会社 代表取締役就任